Canon

マルチカメラマネジメントアプリ
使用説明書

Windows

ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

目次

はじめに....4
この製品の使用に関するご注意 (免責事項)....4
ネットワークセキュリティ....4
マルチカメラマネジメントアプリ 使用状況調査プログラムについて....4
マルチカメラマネジメントアプリでできること....4
使用説明書について....4
ご注意....4
ソフトウェアの画面例....5
本文中の表記....5
動作環境....6
システム要件....6
対応デバイス....6
制限事項....6
インストール....7
運用の流れ....8
マルチカメラマネジメントアプリを起動する....9
起動する....9
メイン画面....9
一覧表示画面....9
映像表示画面....10
デバイスを登録する....12
自動検出して登録する....12
IPv4アドレスを指定して登録する....13
デバイスを認証する....15
デバイス一覧を表示する....16
デバイスの状態を確認する....17
デバイスを絞り込む....18
デバイスの並び順を変更する....19
表示する項目を変更する....19
コンテキストメニューで操作する....20
リモートカメラの設定ページを開く....20
本ソフトウェアの設定をエクスポート／インポートする....21
設定をエクスポートする....21
設定をインポートする....21
デバイスを管理する....22
デバイスを削除する....22
デバイス名を変更する....22
デバイス接続情報を編集する....22
デバイスをグループで管理する....24
グループを作成／編集する....24
デバイス一覧でグループに追加／削除する....25
グループに追加する....25
グループから削除する....25

複数のデバイスを初期設定する 26
初期設定情報をまとめて設定する 26
管理者アカウントをまとめて設定する 27
フレーム周波数をまとめて設定する 27
IPv4アドレスをまとめて自動設定する 28
複数のデバイスの設定値をファイルに保存する 29
複数のデバイスに設定値をコピーする 30
リモートカメラコントローラー RC-IP1000と連携する 31
RC-IP1000の登録カメラを編集する 31
RC-IP1000に証明書をインポートする 33
複数のデバイスをまとめてメンテナンスする 34
メッセージからデバイスのファームウェアを更新する 34
メニューからデバイスのファームウェアを更新する 36
ファームウェア更新を設定する 37
デバイスの最新ファームウェアをダウンロードする 38
設定値をバックアップする 38
設定値をリストアする 39
デバイスの電源をオン／スタンバイにする 40
デバイスを再起動する 40
デバイスを初期化する 41
デバイスのパン／チルトを初期化する 41
その他の機能を使う 42
ログを確認する 42
アプリケーションログを表示する 42
システムログ／エラーログを表示する 42
リモートカメラコントロールアプリを起動する 43
その他 44
メニュー一覧 44
ファイル 44
デバイス一覧 44
デバイス設定 45
グループ管理 45
メンテナンス 45
ツール 46
ヘルプ 46
トラブルシューティング 47
メッセージ一覧 47
商標 49
索引 50

はじめに

この使用説明書は、マルチカメラマネジメントアプリ (以下、「本ソフトウェア」) の設定や操作方法について説明しています。使用前によくお読みになり、本ソフトウェアを正しく利用してください。

この製品の使用に関するご注意 (免責事項)

■ ネットワークセキュリティ

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。
不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

＜対策例＞

- 管理者パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを設定する。
- デバイスのHTTP、HTTPSポート番号を変更する。
- 通信機器でデバイスへのアクセス制限を行う。

その他、対策のポイントについては、次のホームページやデバイスの使用説明書でも紹介しています。合わせてご確認ください。
http://cweb.canon.jp/e-support/information/security/index.html

マルチカメラマネジメントアプリ 使用状況調査プログラムについて

本プログラムでは、お客様がお使いのキヤノン製品に関する情報を、インターネットを通じてキヤノンへ送信することをお願いしています。
キヤノンでは、これらの情報を、お客様のニーズに合わせたより良い製品の規格、開発を行うために使用します。
また、一度ご同意いただいた後でも、送信設定は [ファイル] > [オプション] の [使用状況の収集の変更] から、いつでも変更できます。

マルチカメラマネジメントアプリでできること

本ソフトウェアは、対象のキヤノン製デバイスの初期設定やメンテナンスを行うソフトウェアです。導入時に必須となる基本設定や運用中に必要なデバイスの管理／メンテナンスを、複数台のデバイスに対して効率よく行えます。

使用説明書について

本書はPCの画面上に表示して読むことを想定しています。

■ ご注意

1 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
4 運用した結果の影響につきましては、上記2項、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ ソフトウェアの画面例

本書に記載されているソフトウェアの画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承ください。また、説明にはWindows 11の画面を使用しています。

■ 本文中の表記

記号	意味
重要	重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。

- PTZ (リモート) カメラ : パン／チルト／ズーム機能を備えるカメラ
- ビデオカメラ : シネマカメラまたはビデオカメラ

動作環境

製品に関する最新情報 (使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

システム要件

■ 対応デバイス

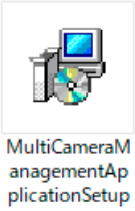
本製品のダウンロードページに記載される対応機種をご確認ください。デバイスを最新のファームウェアにアップデートしてください。

制限事項

- 本ソフトウェアを使用するときは、他のアプリケーションはすべて終了させてください。
- HTTPプロキシによる通信には対応しますが、実行するPCの環境変数やネットワーク設定に依存します。
- 最新ファームウェア情報の確認および使用状況の収集にのみプロキシ認証を使用します。
- 本ソフトウェアでカメラと通信中は、スリープおよび休止モードには自動で移行しません。ただし、手動で行った場合には、通信中でもスリープ、休止に移行します。
- 新文字コード (第三水準漢字など) には対応していません。
- 本ソフトウェアの起動時に「このファイルを実行しますか？」というメッセージが表示される場合があります。[実行] をクリックしてソフトウェアの起動を続行してください。
- ネットワークカードを複数使用して同一PCに複数の (AutoIP以外の) IPv4アドレスが設定されている場合、正常に通信が行えない可能性があります。その場合、IPv4アドレスを一時的に1つにする必要があります。
- サービスパックの適用や、OSのアップデートを行うときは、キヤノンのホームページで最新の動作環境をご確認ください。

インストール

1 **インストールパッケージの中の [MultiCameraManagementApplicationSetup.exe] をダブルクリックする**



インストール画面が表示されます。

2 **画面に従いインストールを進め、インストール完了の画面で [閉じる] をクリックする**

デスクトップに本ソフトウェアのショートカットが追加されるので、ダブルクリックして起動してください。

運用の流れ

本ソフトウェアの基本的な運用の流れは以下のとおりです。

1. 初期設定

本ソフトウェアへのデバイスの登録やIPアドレスの設定など、導入時に必須となる基本設定をします。

- ネットワーク上のデバイスを検出して登録します (P. 12)。
- 初期設定情報をまとめて設定します (P. 26)。
- 管理者アカウントをまとめて設定します (P. 27)。
- 登録したデバイスを認証します (P. 15)。
- デバイスのIPアドレスを一括設定します (P. 28)。
- リモートカメラコントローラーと連携します (P. 31)。

2. 撮影／配信

撮影／配信中の映像の確認や詳細設定をします。

- 一覧表示でカメラの映像を確認します (P. 10)。
- リモートカメラの設定ページ (P. 20) やリモートカメラコントロールアプリ (P. 43) を呼び出して詳細な設定をします。

3. デバイスの管理／メンテナンス

複数のデバイスを一括で管理／メンテナンスします。

- 設定値のバックアップ／リストアをします (P. 38、P. 39)。
- デバイスのファームウェアをまとめて更新します (P. 36)。

デバイスの操作や機能については、各デバイスの説明書をご覧ください。お使いのデバイスによっては、本書に記載の機能／設定に対応していないことがあります。

重 要

- 各機能を処理中にネットワークケーブルを抜いたり、デバイスの電源を切ったりしないでください。デバイスの故障の原因になります。
- 本ソフトウェアが動作する複数のPCから、同じデバイスに対して同時に各機能を実行しないでください。デバイスの故障の原因になります。
- デバイスの再起動を伴う機能があります。再起動処理中のデバイスは本ソフトウェアとの接続が切断されます。

マルチカメラマネジメントアプリを起動する

PCにインストールした本ソフトウェアを起動して、設定を開始します。あらかじめ、デバイスをネットワークに接続しておいてください。

起動する

本ソフトウェアをインストールすると、デスクトップに [マルチカメラマネジメントアプリ] のファイルが表示されます。このファイルをダブルクリックすると、本ソフトウェアが起動し、メイン画面が表示されます。

メ モ

Windowsファイアウォールが有効になっているPCで本ソフトウェアを使用するには、ファイアウォール経由での通信を許可するアプリケーションとして、本ソフトウェアを登録しておく必要があります。登録しなかった場合、本ソフトウェアを起動したときにファイアウォールによって本ソフトウェアがブロックされますが [はい] をクリックすると本ソフトウェアを起動できます。

メイン画面

■ 一覧表示画面

(1) **表示切り替えボタン**
デバイス一覧の表示方法を一覧表示画面と映像表示画面で切り替えます。

(2) **[グループ]**
デバイス一覧に表示するグループを選択します (P. 24)。

(3) **[フィルター]**
デバイス一覧に表示するデバイスを絞り込むことができます (P. 18)。

(4) **デバイス一覧**

登録済みデバイスを一覧表示します。一覧内の行をクリックすると、デバイスが選択されて背景がオレンジ色で表示されます。範囲選択 (Shiftキー＋クリック) や選択 (Ctrlキー＋クリック) で複数のデバイスを選択することもできます。

(5) **ステータス表示部**

左側には、登録済みのデバイス数と選択中のデバイス数が表示されます。右側には、バックグラウンドで実行中の機能の状態が表示されます。完了が表示されると、ほかの機能が実行可能になります。

: アプリケーションログのダイアログを開きます (P. 42)。

: 各機能を複数台一括で実行した場合に、待機中のデバイスがあるときのみ表示されます。クリックすると、実行中の機能を中止します。処理が始まっているデバイスは完了まで処理を継続し、待機中のデバイスは実行がキャンセルされます。

■ 映像表示画面

(1) **デバイス名**

(2) **映像表示部**

登録したデバイスの映像が表示されます。

: カメラがスタンバイ状態です。クリックすると、カメラの電源をオンにします。

: デバイスとの接続が切断されています。ボタンが有効なときは、クリックすると再接続します。

: 対象デバイスがコントローラーのときに表示されます。

(3) **表示デバイス数選択ボタン**

1ページに表示するデバイス数を選択します。最大25台 (5 x 5) まで表示できます。

(4) **設定情報ボタン**

カメラの設定情報 (ガンマ、色空間、カスタムピクチャー) を表示します。機種により表示される情報は異なります。

(5) **設定ページボタン**

リモートカメラの設定ページを開きます。

(6) **ページ切り替え**

前 (◀) または次 (▶) のページに切り替えます。数字をクリックするとそのページに移動します。

デバイスを登録する

ネットワークに接続されているデバイスを検出して登録します。登録したデバイスはメイン画面のデバイス一覧に表示されます。

メ モ

本ソフトウェアでは、最大で200台のデバイスが登録できます。

自動検出して登録する

本ソフトウェアが動作するPCと同じネットワークセグメント内のデバイスを自動的に検出し、本ソフトウェアに登録します。

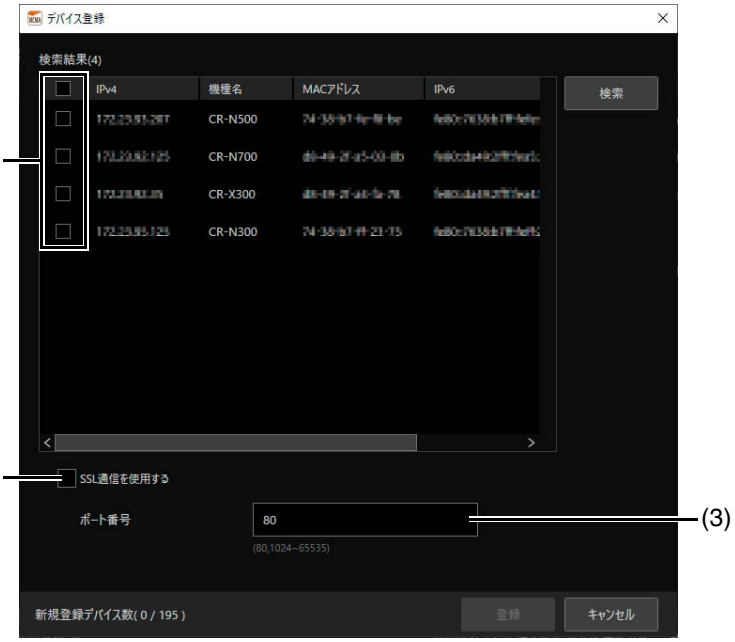
1 [デバイス一覧] > [デバイス登録] > [自動検出] をクリックする

[デバイス登録] ダイアログが開きます。

2 [検索] をクリックする

同一ネットワークのデバイスが一覧表示されます。

3 [デバイス登録] ダイアログで次の項目を入力する



(1) **登録するデバイスの選択**
新規に登録するデバイスを選択します。

(2) **[SSL通信を使用する]**
[SSL通信を使用する] をチェックすると、HTTPSでカメラに接続します。登録するカメラでSSL通信ができるように設定してください。

(3) **[ポート番号]**
デバイスの接続時に使用するポート番号を指定します。通常は初期設定のままにします。

メ モ

[新規登録デバイス数] には登録選択したデバイス数と新規登録が可能なデバイス数を表示されます。

4 [登録] をクリックする

登録したデバイスがデバイス一覧に表示されます。

IPv4アドレスを指定して登録する

登録するデバイスのIPv4アドレスが分かっている場合は、IPv4アドレスを指定して登録できます。異なるネットワークセグメントに接続されているデバイスでも登録できます。

1 [デバイス一覧] > [デバイス登録] > [IPv4アドレスを指定] をクリックする

[IPv4アドレスを指定] ダイアログが開きます。

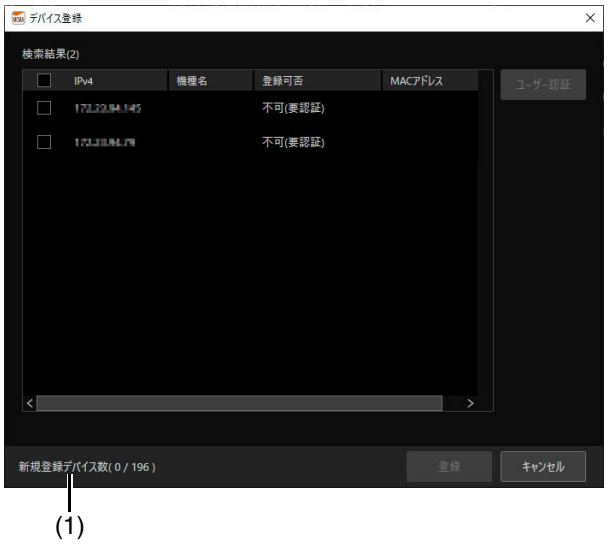
2 [IPv4アドレス範囲] と接続設定 (P. 12) を入力して、[検索] をクリックする

[デバイス登録] ダイアログが開きます。

(1) **[IPv4アドレス範囲]**
検索するデバイスのIPv4アドレスの範囲を入力します。左側が開始アドレス、右側が終了アドレスです。
1つのIPv4アドレスのみを指定するときは、同じ値を入力してください。

3 デバイスを認証する

登録するデバイスのうち、[登録可否] が [不可 (要認証)] のデバイスを選択します。管理者名、パスワードが同じデバイスは複数選択して、一括で認証できます。[ユーザー認証] をクリックすると [ユーザー認証] ダイアログが開きます。



(1) **[新規登録デバイス数]** (P. 12)

4 [管理者名]、[パスワード] を入力して、[OK] をクリックする

管理者名は半角英数字と一部の記号 (「-」と「_」) が使用できます。5～15文字で入力してください。パスワードは半角英数記号8～32文字で入力してください。

5 登録するデバイスがすべて [可] になるまで、操作3～操作4を繰り返す

6 登録するデバイスを選択する

[登録可否] が [可] のデバイスを選択します。

7 [登録] をクリックする

[登録可否] が [可] のデバイスが登録され、デバイス一覧に表示されます。

デバイスを認証する

デバイス登録時に未認証のデバイス ([状態] が [要認証] のデバイス) を管理者アカウントで認証します (P. 17)。管理者アカウント登録時に共通の管理者名／パスワードを設定したデバイス (複数) は、一括で認証できます。

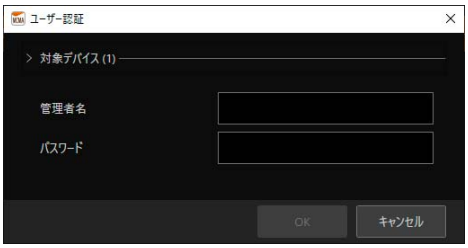
1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [デバイス一覧] > [ユーザー認証] をクリックする

[ユーザー認証] ダイアログが開きます。

3 [管理者名]、[パスワード] を入力する

管理者名は半角英数字と一部の記号 (「-」と「_」) が使用できます。5～15文字で入力してください。パスワードは半角英数記号8～32文字で入力してください。



メ モ

[対象デバイス] をクリックすると、選択したデバイスの一覧が表示されます。

(1)

(1)

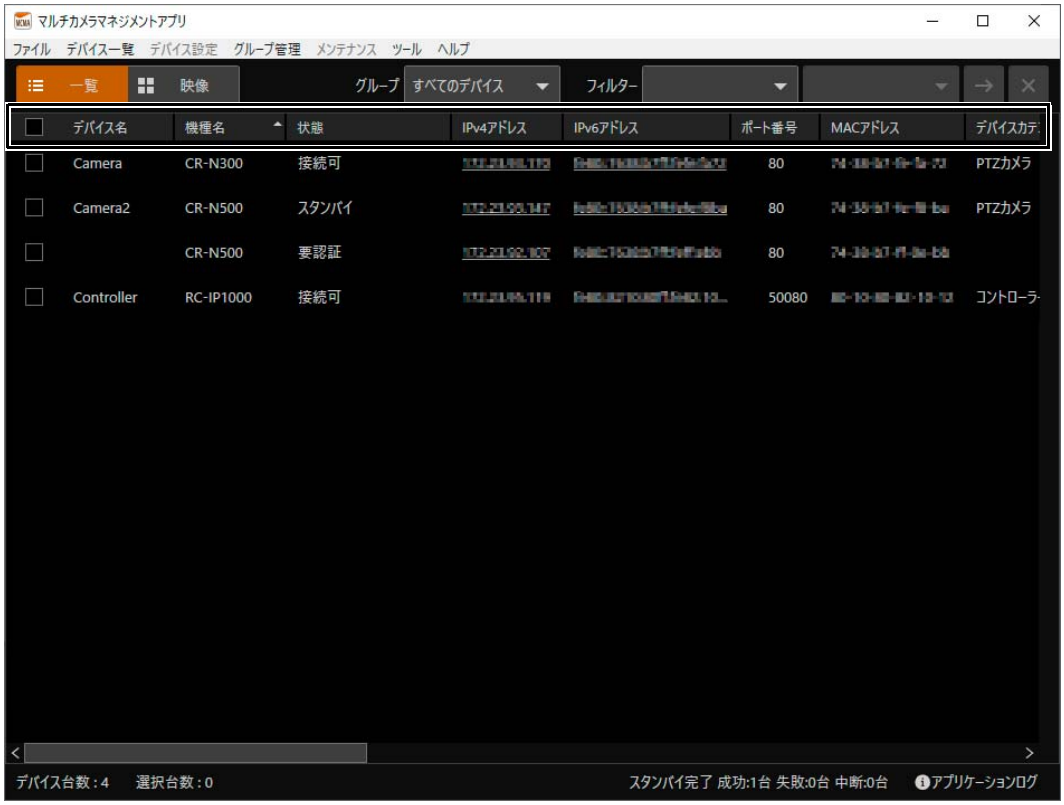
デバイスを選択するか、マウスオーバーすると表示されます。クリックすると、デバイスが削除されます。以降の操作でも対象デバイスが一覧で表示されるときは、同様の手順でデバイスを削除できます。

4 [OK] をクリックする

デバイスの認証情報が更新されます (P. 17)。

デバイス一覧を表示する

デバイス一覧には、本ソフトウェアに登録したデバイスの情報が一覧表示されます。デバイスの状態確認や操作対象デバイスの選択を行います。



デバイス一覧に表示される項目は次のとおりです。

項目	説明
☐	デバイスを選択すると、チェックされます。
デバイスカテゴリー	[PTZカメラ]、[ビデオカメラ]、[コントローラー]
機種名	-
デバイス名	任意のデバイス名に変更できます (P. 22)。
MACアドレス	-
シリアル番号	-
IPv4アドレス	[デバイスカテゴリー] が [PTZカメラ] のとき：クリックすると、カメラの設定ページを開きます。
IPv6アドレス	
AutoIP	
DHCP	[有効]、[無効]
ポート番号	-
ファームウェアバージョン	ファームウェア情報が表示されます。 ：新しいファームウェアが公開されています。更新してください (P. 34)。 新しいファームウェアがダウンロード可能です。クリックしてファームウェアの情報を確認し、ダウンロードしてください (P. 38)。
状態	デバイスの状態が表示されます (P. 17)。
アドオン	クリックすると、リモートカメラの設定ページのアドオンページが開きます。 ：アドオンアプリケーションに有効なライセンスファイルがインストールされていません。
映像記録	[●REC]、[STBY]
音声入力	[使用する]、[使用しない]

項目	説明
フレーム周波数 (Hz)	-
Gamma / Color Space	-
解像度/フレームレート(12G-SDI)	-
解像度/フレームレート(3G-SDI)	-
解像度/フレームレート(HDMI)	-
備考	ダブルクリックすると、任意の文字列を入力できます。

デバイスの状態を確認する

デバイス一覧の [状態] には、デバイスの接続状態が表示されます。

状態	説明
接続可	ネットワークに正常に接続している
接続可	ネットワークに接続しているがエラーが発生している 対象のデバイスを選択してから [メンテナンス] > [ログ] > [エラーログ] を選ぶと、[エラーログ] ダイアログが表示され、エラーの詳細を確認できます。確認すると、の表示が消えます。
接続可	ネットワークに接続しているがカメラ内部が高温になっている 対象のデバイスを選択してから [メンテナンス] > [ログ] > [エラーログ] を選ぶと、[エラーログ] ダイアログが表示され、エラーの詳細を確認できます。
接続不可	ネットワークに接続していない
要認証	接続しているが認証が必要 (設定されている管理者名／パスワードでは認証できない) (P. 15)
要管理者登録	接続はしているが管理者アカウントの登録が必要 (P. 27)
スタンバイ	デバイスがスタンバイの状態 (P. 40)

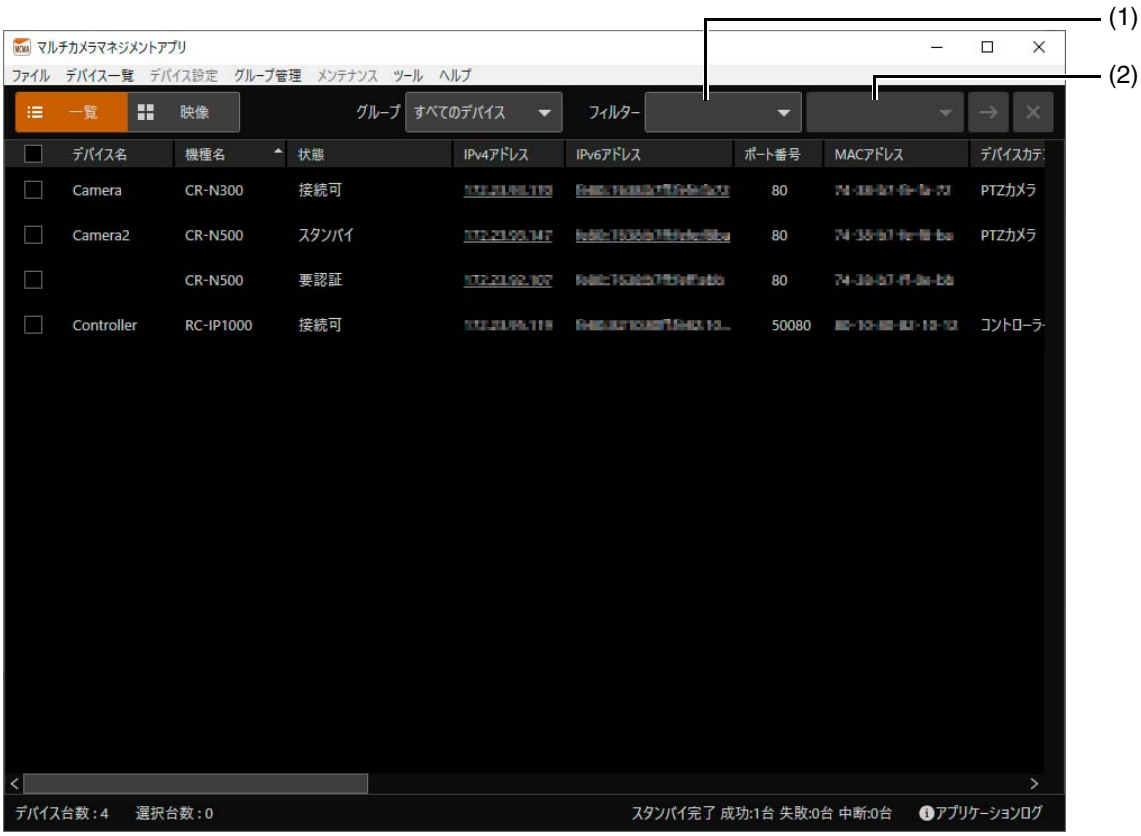
メ モ

エラー情報の詳細は、各デバイスの説明書をご覧ください。

デバイスを絞り込む

IPv4アドレスやデバイスの状態など、デバイス一覧の表示項目と値をフィルター条件に指定して、目的のデバイスを絞り込みます。

1 [フィルター] のフィルター項目と一致条件を選択する



(1) **フィルター項目**
プルダウンでフィルター項目を選択します。

(2) **一致条件**
フィルター項目で指定した条件のうち、絞り込む一致条件を選択します。

2 [→] をクリックする

指定したフィルター項目と一致条件で絞り込んだデバイスが一覧に表示されます。
フィルターを解除するときは、[×] をクリックします。

フィルター項目は以下のとおりです。

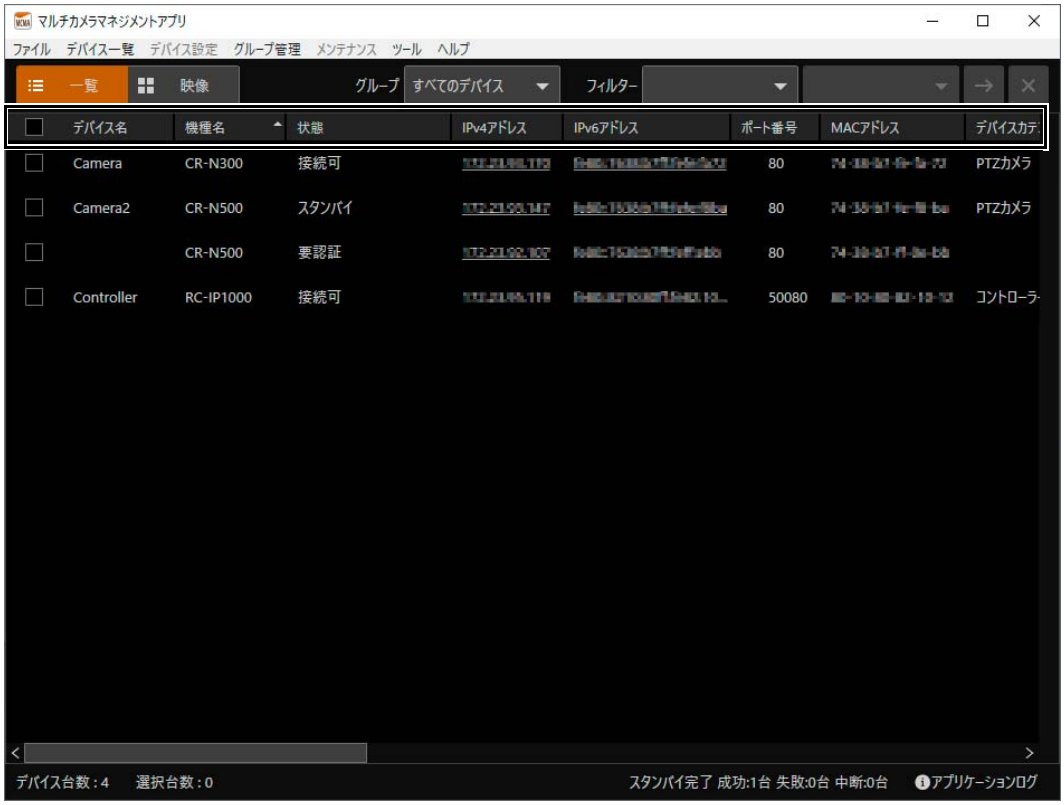
項目	一致条件の指定方法
機種名	プルダウン
デバイスカテゴリー	プルダウン
デバイス名	テキスト入力
IPv4アドレス	テキスト入力
DHCP	プルダウン
状態	プルダウン
音声入力	プルダウン
備考	テキスト入力
エラー	プルダウン
フレーム周波数	プルダウン

メ モ

デバイスをグループに登録していれば、[グループ] から絞り込むこともできます (P. 24)。

デバイスの並び順を変更する

デバイス一覧のタイトル行の項目名をクリックするたびに、一覧が昇順または降順に並べ替えられます。
また、項目名をドラッグして、目的の位置でドロップすることで、表示位置を変更できます。



表示する項目を変更する

デバイス一覧に表示する項目を変更します。

1 [デバイス一覧] > [列の表示設定] をクリックする

[列の表示設定] ダイアログが開きます。

2 表示項目を編集する

表示したい項目は、チェックボックスをチェックします。表示しない項目は、チェックボックスのチェックを外します。

3 [適用] をクリックする

デバイス一覧の表示項目が変更されます。

コンテキストメニューで操作する

デバイス一覧の任意のデバイス上を右クリックするとコンテキストメニューが表示され、そのデバイスに対する操作が行えます。操作できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
情報更新	デバイスの設定を再取得し、内容を更新します。
デバイス削除	デバイスをデバイス一覧から削除します (P. 22)。
初期設定	デバイスの初期設定を行います。
ユーザー認証	デバイスのユーザー認証を行います (P. 15)。
デバイス接続情報の編集	デバイスの接続情報を変更します (P. 22)。
映像確認	デバイスの映像表示画面に切り替わります。
デバイス設定	• リモートカメラの設定ページを開く (P. 20) • 管理者アカウント／フレーム周波数の一括設定 (P. 27、P. 27) • デバイス名の変更 (P. 22) • IPv4アドレスの自動設定 (P. 28) • デバイス間の設定値の保存／コピー (P. 29、P. 30)
グループ管理	• グループに追加 (P. 25) • グループから削除 (P. 25)
メンテナンス	• デバイスの電源の操作 (P. 40) • デバイスの再起動 (P. 40) • デバイスの初期化 (P. 41) • パン／チルトの初期化 (P. 41) • ファームウェアの更新 (P. 36) • 設定値のバックアップ (P. 38) • 設定値のリストア (P. 39) • ログの確認 (P. 42)

メ モ

デバイスの [状態] や機種に応じて、選択できない項目はグレー表示されます。

リモートカメラの設定ページを開く

メニュー一覧からリモートカメラの設定ページを開きます。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [デバイス設定] > [設定ページを開く] をクリックする

WEBブラウザーでリモートカメラの設定ページが開きます。

メ モ

一覧表示画面 (P. 16) や映像表示画面 (P. 10) からもリモートカメラの設定ページを開けます。

本ソフトウェアの設定をエクスポート／インポートする

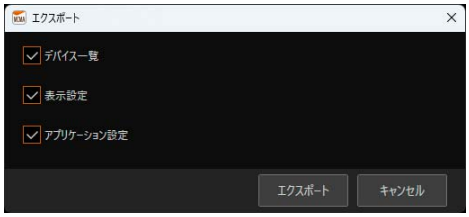
本ソフトウェアの設定の一部をjson形式のファイルとして、エクスポートまたはインポートできます。

■ 設定をエクスポートする

1 [ファイル] > [エクスポート] をクリックする

[エクスポート] ダイアログが開きます。

2 エクスポートする対象を選択し、[エクスポート] をクリックする



3 保存先のフォルダーを選択して、保存する

エクスポートできる内容は次のとおりです。

名称	設定内容
[デバイス一覧]	デバイスとの接続に必要な情報 (IPアドレス／アカウント情報／ポート番号など) や本ソフトウェアのデバイス情報 (グループ設定／備考など)
[表示設定]	デバイス一覧画面の表示項目の選択状態やレイアウト設定
[アプリケーション設定]	ファームウエア更新の設定 (P. 37)

■ 設定をインポートする

1 [ファイル] > [インポート] をクリックする

ファイル選択画面が開きます。設定をエクスポートしたファイルを選択してください。

2 インポートする対象を確認する

インポートしたファイルに含まれる項目がチェックされています。

3 [インポート] をクリックする

インポートした内容が反映されます。

デバイスを管理する

登録したデバイスの情報を変更するときの操作を説明します。

デバイスを削除する

登録したデバイスは以下の手順でデバイス一覧から削除します。

1. **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**
2. **[デバイス一覧] > [デバイス削除] をクリックする**

   確認ダイアログが開きます。
3. **[OK] をクリックする**

   対象のデバイスがデバイス一覧から削除されます。

デバイス名を変更する

登録したデバイスの名称を変更します。

1. **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**
2. **[デバイス設定] > [デバイス名設定] をクリックする**

   [デバイス名設定] ダイアログが開きます。
3. **デバイス名を入力する**
4. **[適用] をクリックする**

   対象のデバイスのデバイス名が変更されます。

デバイス接続情報を編集する

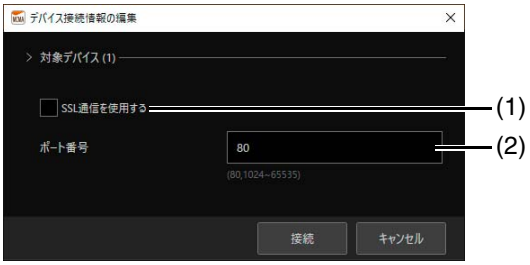
デバイスに接続する際のSSL通信の使用やポート番号の設定を変更できます。複数のデバイスを一括して変更できます。

1. **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**
2. **[デバイス一覧] > [デバイス接続情報の編集] をクリックする**

   [デバイス接続情報の編集] ダイアログが開きます。

3 次の項目を入力する

入力項目の詳細は「デバイスを登録する」の手順3 (P. 12) を参照ください。



(1) [SSL通信を使用する]

(2) [ポート番号]

4 [接続] をクリックする

デバイスの接続情報が更新されます。

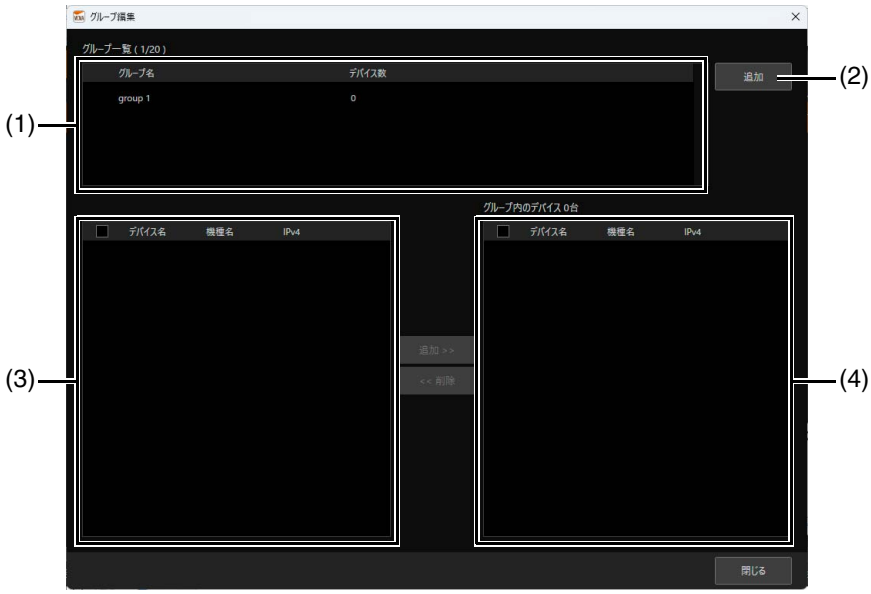
デバイスをグループで管理する

複数のデバイスをグループに登録して管理できます。デバイス一覧にてグループ名で絞り込むことにより、多くのデバイスを登録したときもデバイスを見つけやすくなります。登録できるグループ数は最大20個です。

グループを作成／編集する

1 [グループ管理] > [グループ編集] をクリックする

[グループ編集] ダイアログが開きます。



(1) **[グループ一覧]**
現在設定されているグループを一覧表示します。グループ名をダブルクリックすると、編集できます。

(2) **[追加]**
新しくグループを作成します。

(3) **グループ未登録のデバイス一覧**
グループに登録されていないデバイス一覧です。

(4) **[グループ内のデバイス]**
グループに登録しているデバイス一覧です。

2 編集するグループを選択する

新しくグループを作成する場合、[追加] をクリックすると、[グループ一覧] に新規グループが追加されます。[グループ一覧] から編集するグループを選択すると、[グループ内のデバイス] に登録しているデバイスが表示されます。

3 グループのデバイスを編集する

追加するとき : グループ未登録のデバイス一覧から追加するデバイスを選択し、[追加>>] をクリックします。
削除するとき : [グループ内のデバイス] から削除するデバイスを選択し、[<<削除] をクリックします。

4 [閉じる] をクリックする

グループ情報が登録されます。

メ モ

[グループ一覧] でグループを選択するか、マウスオーバーすると が表示されます。クリックすると、グループを削除します。

デバイス一覧でグループに追加／削除する

すでに登録されているグループには、デバイス一覧からデバイスを追加／削除することができます。

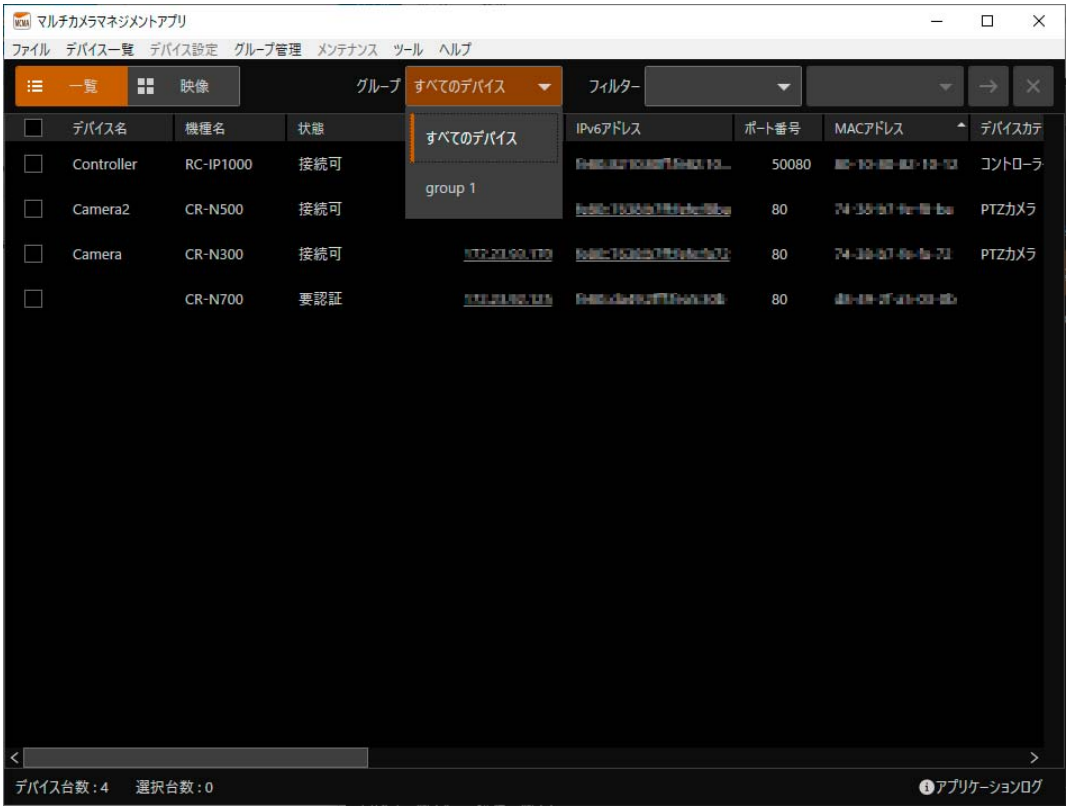
■ グループに追加する

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [グループ管理] > [グループに追加] >グループ名を選択する

■ グループから削除する

1 削除したいグループでフィルターをかける



2 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

3 [グループ管理] > [グループから削除] をクリックする

確認ダイアログが開きます。

4 [OK] をクリックする

複数のデバイスを初期設定する

初期設定情報 (管理者アカウント情報、フレーム周波数、IPv4ネットワーク設定) を、1台または複数台のデバイスに一括して設定します。

初期設定情報をまとめて設定する

管理者登録が必要なデバイスに、初期設定情報を一括して設定できます。

1 **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**

2 **[デバイス一覧] > [初期設定] をクリックする**

[初期設定] ダイアログが開きます。

3 **[管理者アカウント設定]、[フレーム周波数設定]、[IPv4アドレス自動設定] をそれぞれ入力し、[適用] をクリックする**

確認ダイアログが開きます。管理者名は半角英数字と一部の記号 (「-」と 「_」) が使用できます。5～15文字で入力してください。パスワードは半角英数字8～32文字で入力してください。半角の英字、数字、記号から2種以上を使用してください。

(1) **[管理者アカウント設定]**

(2) **[フレーム周波数設定]**

(3) **[IPv4アドレス自動設定]**
[IPv4アドレス自動設定を行う]
オンにすると、IPv4アドレスをまとめて自動設定できます。

4 **[OK] をクリックする**

設定がデバイスに適用され、デバイスが再起動します。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

管理者アカウントをまとめて設定する

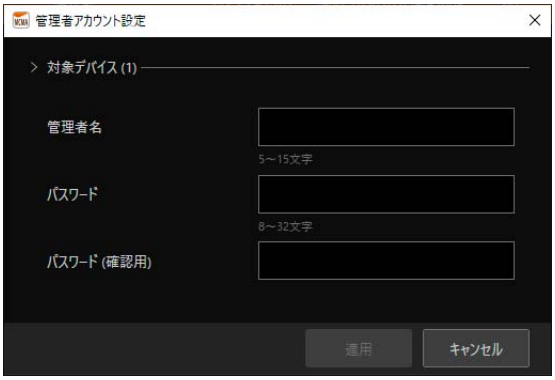
1 **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**

2 **[デバイス設定] > [一括設定] > [管理者アカウント] をクリックする**

[管理者アカウント設定] ダイアログが開きます。

3 **[管理者名]、[パスワード] を入力し、[適用] をクリックする**

確認ダイアログが開きます。



4 **[OK] をクリックする**

設定がデバイスに適用され、デバイスが再起動します。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

フレーム周波数をまとめて設定する

1 **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**

2 **[デバイス設定] > [一括設定] > [フレーム周波数] をクリックする**

[フレーム周波数設定] ダイアログが開きます。

3 **[フレーム周波数 (Hz)] を選択して、[適用] をクリックする**

確認ダイアログが開きます。

4 **[OK] をクリックする**

設定がデバイスに適用され、デバイスが再起動します。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

IPv4アドレスをまとめて自動設定する

IPv4アドレスが割り当てられていないデバイス (IPv6リンクローカルアドレスやAutoIPで接続しているデバイス) にIPv4アドレスをまとめて自動設定することができます。すでにIPv4アドレスが割り当てられているデバイスに対しても、IPv4アドレスを書き替えることができます。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [デバイス設定] > [IPv4アドレス自動設定] をクリックする

[IPv4アドレス自動設定] ダイアログが開きます。

3 [IPv4アドレス範囲] や [サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を入力して、[適用] をクリックする

確認のダイアログが開きます。

(1) **[IPv4アドレス範囲]**
デバイスに設定するIPv4アドレスを範囲で指定します。複数のデバイスを選択したときは、範囲で指定したIPv4アドレスの小さい方から1ずつ繰り上げて設定します。使用済みのIPv4アドレスは飛ばします。

(2) **[サブネットマスク]**
ネットワークごとに指定されたサブネットマスク値を入力します。

(3) **[デフォルトゲートウェイ]**
[デフォルトゲートウェイ] と [IPv4アドレス範囲] が同一サブネット内になるように入力します。

4 [OK] をクリックする

設定がデバイスに適用されます。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

複数のデバイスの設定値をファイルに保存する

1台または複数台のデバイスの設定値をファイルに保存します。保存した設定値は別のデバイスにコピーするときに使用します。日付と時刻以外のすべての設定値をファイルに保存します。

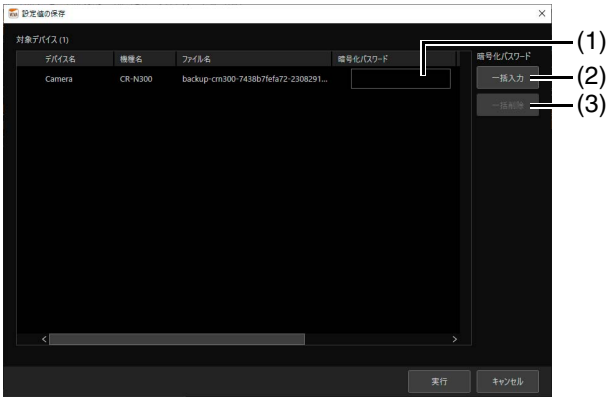
1 **デバイス一覧で対象のデバイスを選択する**

2 **[デバイス設定] > [デバイス間設定値コピー] > [設定値を保存] をクリックする**

[設定値の保存] ダイアログが開きます。

3 **設定値を保存するデバイスを確認する**

必要に応じて暗号化パスワードを設定できます。暗号化パスワードは半角の英字、数字、記号から2種以上を使用してください。文字数は8～32文字で入力してください。これは、設定値データそのものを暗号化するためのパスワードです。暗号化された設定値データから設定値をコピーするときは、ここで設定したパスワードが必要になります。



(1) **[暗号化パスワード]**
デバイスごとに暗号化パスワードを設定します。

(2) **[一括入力]**
リストに表示されているすべてのデバイスに同じ暗号化パスワードを設定します。

(3) **[一括削除]**
[暗号化パスワード] を一括で削除します。

4 **[実行] をクリックする**

5 **保存先のフォルダーを選択して、保存する**

処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

複数のデバイスに設定値をコピーする

デバイス間で設定値をコピーすることができます。コピー元は、ファイルに保存した設定値 (P. 29) かデバイスのいずれかを選択できます。コピー先は複数のデバイスを選択でき、一括してコピーします。コピー先の設定値は上書きされます。ネットワーク設定および管理情報はコピーされません。

重 要

- 設定値をコピーできるファイルは、本ソフトウェアの [設定値を保存] (P. 29) で保存したファイルです。編集・加工されたファイルからは設定値をコピーできません。
- デバイスが再起動するため、処理中のデバイスは接続が切断されます。

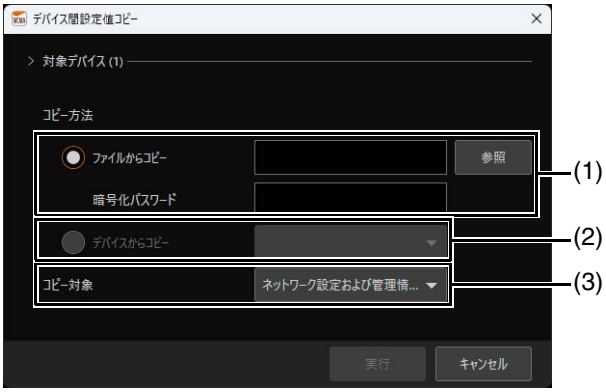
1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [デバイス設定] > [デバイス間設定値コピー] > [設定値をコピー] をクリックする

[デバイス間設定値コピー] ダイアログが開きます。

3 複数の機種を選択しているときは、対象とする機種を選択する

4 設定値のコピー元を選択する



(1) **[ファイルからコピー]**
[参照] をクリックして、コピー元の設定値ファイルを指定します。保存したときに設定した、暗号化パスワードを入力します。

(2) **[デバイスからコピー]**
リストに表示されているデバイスの中からコピー元にするデバイスを選択します。

(3) **[コピー対象]**
コピー対象を選択します。
[ネットワーク設定および管理者情報以外]
ネットワーク設定、管理者情報、登録ユーザー情報、タイムゾーン、証明書、アクセス制限以外の設定値がコピーされます。
[プリセット/CP] または [プリセット]
プリセット設定とCustom Picture設定またはプリセット設定と画質設定、画質詳細設定がコピーされます。

5 [実行] をクリックする

処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

リモートカメラコントローラー RC-IP1000と連携する

リモートカメラコントローラー RC-IP1000 (以下、「RC-IP1000」) に登録されているカメラの編集や、RC-IP1000への証明書のインポートを行います。本ソフトウェアと接続するための設定方法に関してはRC-IP1000の説明書をご覧ください。
認証されたコントローラーが登録されているときに、デバイス一覧から [ツール] > [コントローラー設定] を選択すると、[コントローラー設定] ダイアログが表示されます。

RC-IP1000の登録カメラを編集する

RC-IP1000の登録カメラの追加、削除、入れ替えや接続情報の編集を行います。

(1) **本ソフトウェアに登録されているカメラ一覧**

(2) **コントローラーに登録されているカメラ一覧**

(3) **グループ**
本ソフトウェアに登録されているカメラ一覧をグループで絞り込みます (P. 24)。

(4) **[割り当て]**
プルダウンからコントローラーとカメラの接続種別を選択します。[割り当て] をクリックすると、選択したカメラがコントローラーの選択したカメラ番号に登録されます。割り当て先にすでに登録されている情報は、上書きされます。

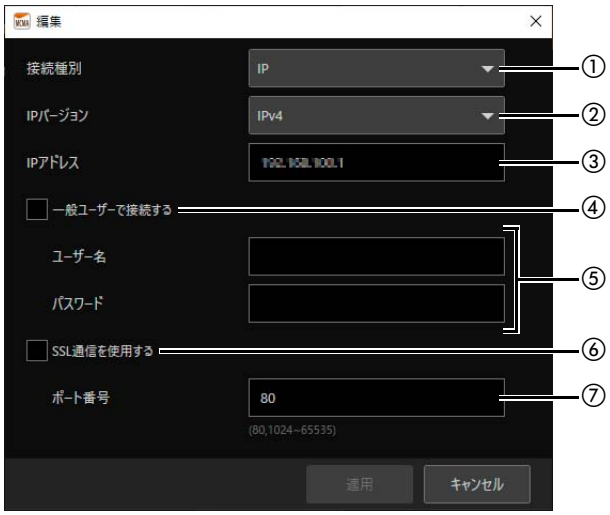
(5) **[コントローラー]**
登録カメラ情報を編集するコントローラーを選びます。

(6) **[割り当て情報初期化]**
コントローラーの登録カメラをすべて消去して初期状態に戻します。

(7) **[証明書インポート]**
SSL接続に必要な証明書をコントローラーにインポートします (P. 33)。

(8) **[編集]**

カメラの登録情報を編集します。カメラを選択した状態で、コンテキストメニューからも開くことができます。



① **[接続種別]**

選択したカメラの接続種別 (プロトコル) を選びます。[シリアル(NU)]、[未設定] のいずれかを選択すると、②～⑦の設定は不要です。

[IP] : IP接続 (XCプロトコル)

[シリアル(NU)] : シリアル接続 (NUプロトコル)。Camera 1～Camera 5のみで選択可能

[未設定] : カメラとコントローラーが通信を行わない

② **[IPバージョン]**

IPアドレスの種別を [IPv4] と [IPv6] から選択します。

③ **[IPアドレス]**

[IPバージョン] に応じたIPアドレスを入力します。

④ **[一般ユーザーで接続する]**

ユーザー名とパスワードの入力を省略する場合に、チェックします。カメラの設定ページで、一般ユーザーにカメラ制御と映像配信の権限が付与しておくことをおすすめします。

⑤ **[ユーザー名]、[パスワード]**

カメラの管理者または登録ユーザーのユーザー名／パスワードを入力します。登録ユーザーでカメラを追加する場合は、カメラの設定ページで、登録ユーザーにカメラ制御と映像配信の権限を付与しておくことをおすすめします。

⑥ **[SSL通信を使用する]**

チェックすると、HTTPSでカメラに接続します。登録するカメラでSSL通信できるように設定してください。

⑦ **[ポート番号]**

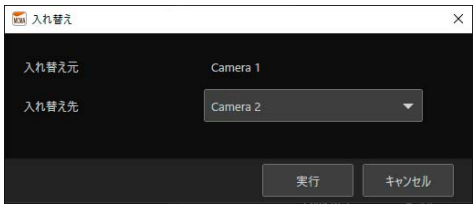
カメラのポート番号を入力します。

メ モ

ユーザー権限の設定などのカメラの設定については、カメラの設定ページで行います。詳しくはカメラの使用説明書を参照してください。

(9) **[入れ替え]**

コントローラーに登録されているカメラを入れ替えます。(2) で [入れ替え] をクリックしたときに選んでいるカメラが入れ替え元となります。カメラを選択した状態で、コンテキストメニューからも開くことができます。



(10) **[無効化]**

選択したカメラの接続種別を [未設定] に変更します。コンテキストメニューからも同様の手順で設定できます。

メ モ

複数のカメラを選択して、[割り当て] ができます。その場合は、選択したカメラ番号から順に割り当てられます。

RC-IP1000に証明書をインポートする

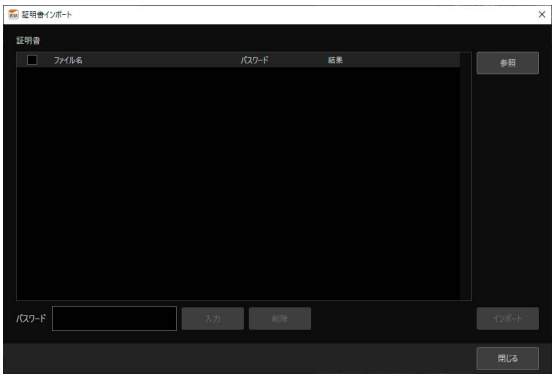
カメラとのSSL接続に必要な証明書をコントローラーにインポートします。一度にインポートできる証明書の最大数は10個です。

1 [証明書インポート] をクリックする

[証明書インポート] ダイアログが開きます。

2 [参照] をクリックして、インポートする証明書ファイルを読み込む

読み込んだ証明書ファイルが一覧表示されます。



3 証明書ファイルを選択する

一覧からインポートの対象とするファイルを選択します。

4 証明書ファイルのパスワードを入力する

パスワードをテキストボックスに入力し、[入力] をクリックします。

5 [インポート] をクリックする

インポートが実行され、[結果] に [成功] か [失敗] が表示されます。

複数のデバイスをまとめてメンテナンスする

本ソフトウェアでは、ファームウェアの更新や設定値のバックアップ／リストア、初期化など、デバイスのさまざまなメンテナンスを行えます。

メッセージからデバイスのファームウェアを更新する

本ソフトウェアでは複数のデバイスに対して、自動でファームウェアの更新情報を取得できます。更新可能なデバイスがあるときには、メッセージが表示されます。デバイス一覧の [ファームウェアバージョン] に表示される 横のファームウェアバージョンをクリックして更新することもできます。

重 要

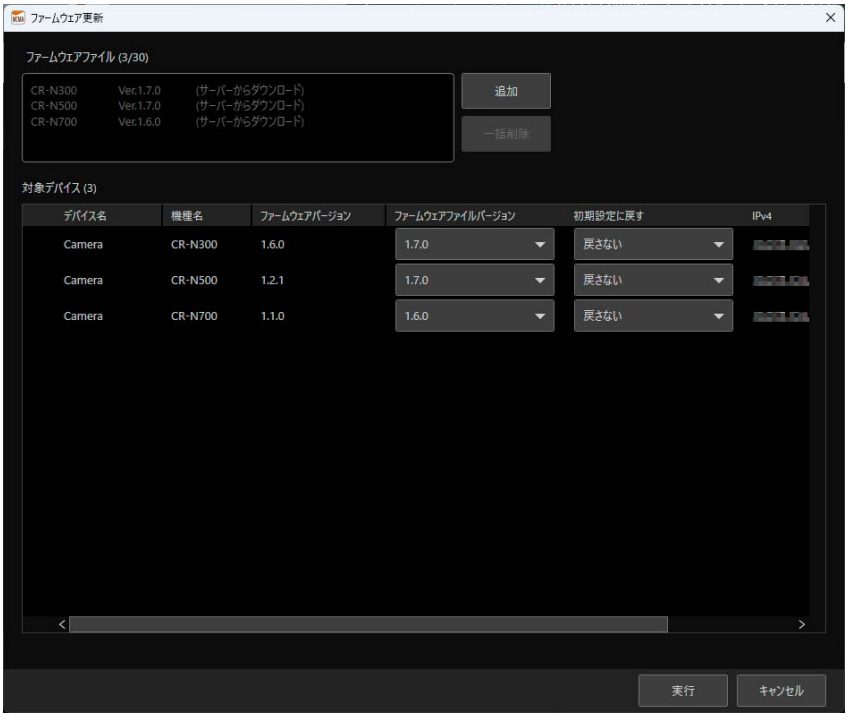
- 更新中の停電など、ファームウェアの更新が正常に終了しなかった場合、デバイスのファームウェアが正しく起動できなくなることがあります。そのときは、販売店にご連絡ください。
- デバイスが再起動するため、処理中のデバイスは接続が切断されます。

1 メッセージの [ファームウェア更新する] をクリックする

[ファームウェア更新] ダイアログが開きます。

2 各デバイスの [ファームウェアバージョン] でインストールするファームウェアのバージョンを確認する

ダウンロードしたファームウェアファイルが表示されていることを確認します。



3 各デバイスの [初期設定に戻す] でいずれかを選択する

[戻す] : ファームウェアの更新後に、管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷設定の状態に戻ります。初期設定に戻らない設定項目については、デバイスの説明書を参照してください。

[戻さない] : 現在の設定を保持します。

4 [実行] をクリックする

確認ダイアログが開きます。

5 [OK] をクリックする

設定がデバイスに適用され、デバイスが再起動します。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

メニューからデバイスのファームウェアを更新する

ネットワークに接続していないPCなどで本ソフトウェアを使用している場合、ファームウェアの更新情報は自動で取得されません。事前にUSBメモリなどの外部ストレージにダウンロードしてから、ファームウェアを更新できます。

重 要

- 更新中の停電など、ファームウェアの更新が正常に終了しなかった場合、デバイスのファームウェアが正しく起動できなくなることがあります。そのときは、販売店にご連絡ください。
- デバイスが再起動するため、処理中のデバイスは接続が切断されます。

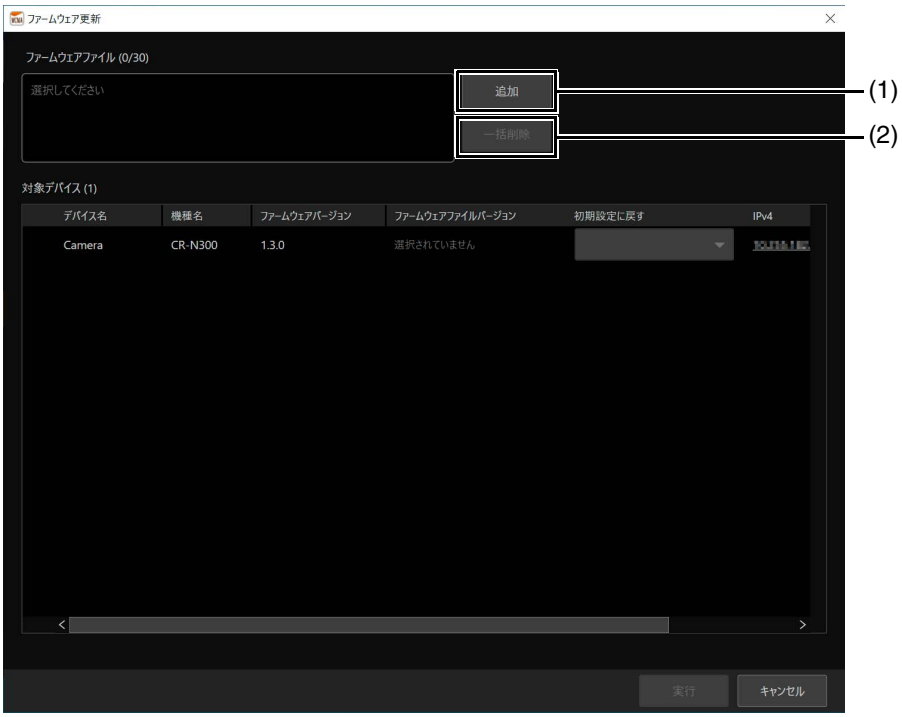
1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [ファームウェア更新] をクリックする

[ファームウェア更新] ダイアログが開きます。

3 [ファームウェアファイル] の [追加] をクリックし、ファームウェアファイルを選択する

選択したファームウェアファイルのバージョンが、各デバイスの [ファームウェアファイルバージョン] に表示されます。機種やバージョンが異なるファームウェアファイルを複数同時に選択できます。



(1) **[追加]**
ファームウェアファイルの選択画面が開きます。上限数の30個まで複数回に分けて追加できます。ファームウェアファイルを追加した場合に、選択されている [ファームウェアファイルバージョン] より新しいバージョンのファームウェアファイルがリストにあるときは、自動で新しいバージョンに置き換えるかの確認ダイアログが開きます。

(2) **[一括削除]**
ファームウェアファイルを一括で削除します。

4 各デバイスの [ファームウェアファイルバージョン] でインストールするファームウェアのバージョンを選択する

複数のファームウェアファイルを選択したときはプルダウンから使用するバージョンを選択します。

5 **各デバイスの [初期設定に戻す] でいずれかを選択する**

[戻す] : ファームウェアの更新後に、管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷設定の状態に戻ります。初期設定に戻らない設定項目については、デバイスの説明書を参照してください。

[戻さない] : 現在の設定を保持します。

6 **[実行] をクリックする**

確認ダイアログが開きます。

7 **[OK] をクリックする**

設定がデバイスに適用され、デバイスが再起動します。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

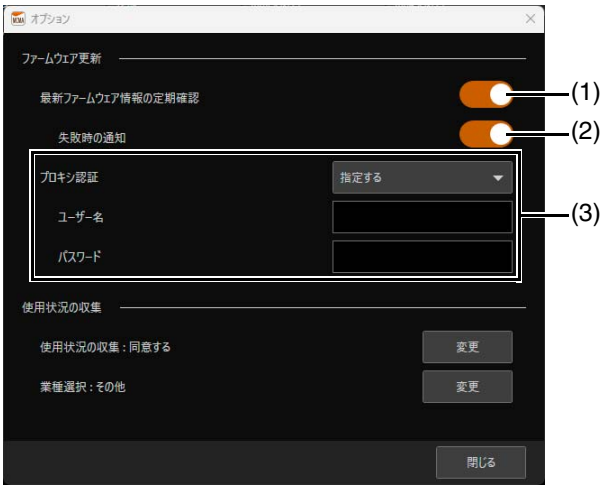
ファームウェア更新を設定する

ファームウェア更新を自動で行うか設定します。

1 **[ファイル] > [オプション] をクリックする**

[オプション] ダイアログが開きます。

2 **[最新ファームウェア情報の定期確認]、[失敗時の通知]、[プロキシ認証] を入力する**



(1) **[最新ファームウェア情報の定期確認]**
オンにするとアプリ起動時およびアプリ起動後24時間ごとにファームウェアの情報を取得します。

(2) **[失敗時の通知]**
オンにするとファームウェア情報の定期確認に失敗したときに、画面上に通知が表示されます。

(3) **[プロキシ認証]**
プロキシ認証に必要な認証情報を指定することができます。
[指定しない] : プロキシ認証を指定せず、ファームウェアの情報を更新します。
[指定する] : プロキシ認証を指定して、ファームウェアの情報を更新します。プロキシ認証に必要なユーザープ名およびパスワードを入力します。

3 **[閉じる] をクリックする**

デバイスの最新ファームウェアをダウンロードする

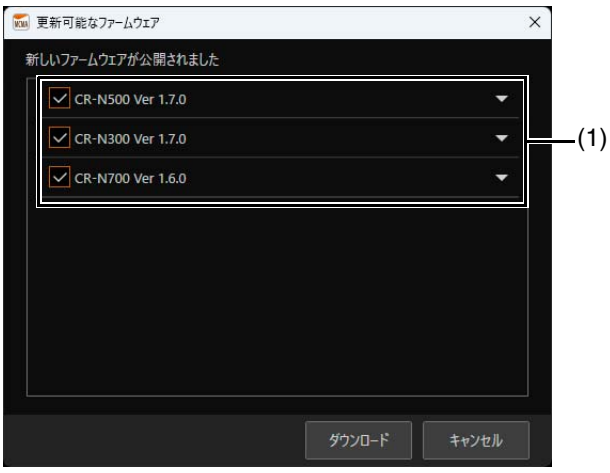
本ソフトウェアでは複数のデバイスに対して、ネットワークに接続中にファームウェア情報を自動で取得します。デバイス一覧の [ファームウェアバージョン] に、新しいファームウェアがダウンロード可能であることがお知らせされます。

1 メッセージの [ダウンロード] をクリックする

[変更可能なファームウェア] ダイアログが開きます。

2 ダウンロードしたい機種を選択して [ダウンロードする] をクリックする

[使用許諾契約書] ダイアログが開きます。



(1) **ダウンロード可能な機種一覧**
プルダウンで変更内容を確認できます。

3 それぞれ内容を確認して、[同意する] をクリックする

ファームウェアがダウンロードされます。
引き続きファームウェアの更新を行えます (P. 34)。

設定値をバックアップする

デバイスの設定情報を読み込んでバックアップファイルとして保存します。複数台のデバイスに対して一括でバックアップすることもできます。バックアップファイルを使用すれば、バックアップ時の設定に戻したり、他のデバイスに同じ設定を適用したりすることができます。バックアップされる設定値はデバイスの説明書をご確認ください。

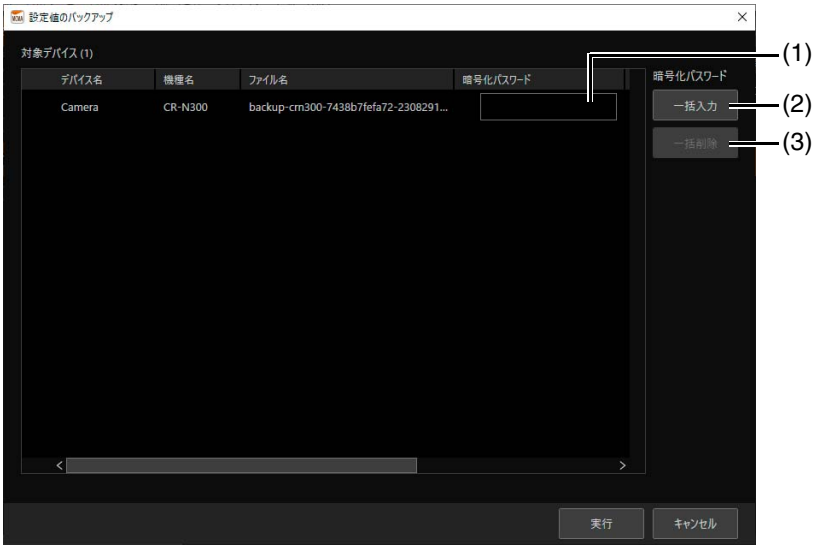
1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [設定値のバックアップ] をクリックする

[設定値のバックアップ] ダイアログが開きます。

3 バックアップするデバイスを確認する

必要に応じて暗号化パスワードを設定できます。暗号化パスワードは半角の英字、数字、記号から2種以上を使用してください。文字数は8～32文字で入力してください。これは、バックアップデータそのものを暗号化するためのパスワードです。暗号化されたバックアップデータからリストアするときは、ここで設定したパスワードが必要になります。



(1) **[暗号化パスワード]**
デバイスごとに [暗号化パスワード] を設定します。

(2) **[一括入力]**
バックアップファイルに共通の [暗号化パスワード] を設定します。

(3) **[一括削除]**
[暗号化パスワード] を一括で削除します。

4 [実行] をクリックする

バックアップファイルの保存先を指定すると、処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

設定値をリストアする

バックアップファイルに保存された設定値をデバイスにリストアします。デバイスの設定をバックアップ時点の内容に戻したり、他のデバイスに同じ設定を移行したりするときに使用します。同じ機種でバックアップしたファイルでのみリストアができます。リストアされる設定値はデバイスの説明書をご確認ください。

重 要

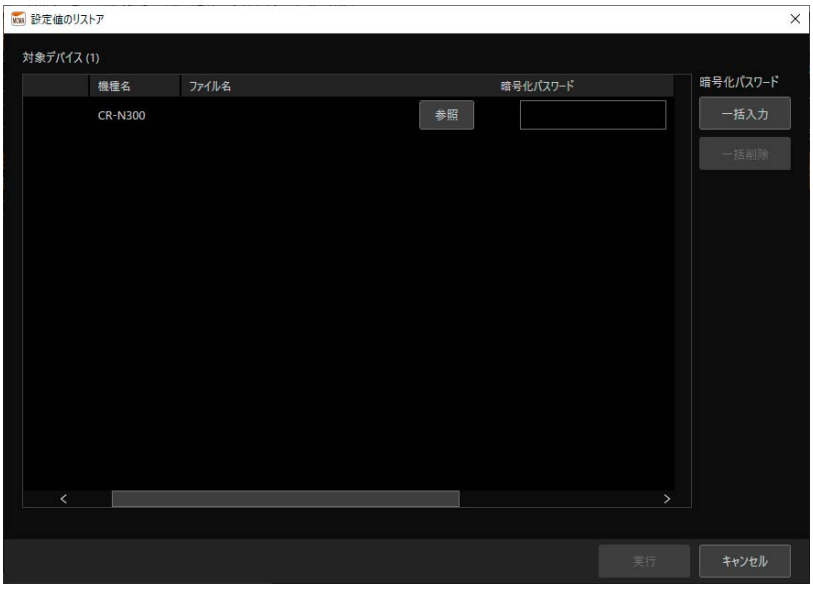
- リストアできるファイルは、本ソフトウェアの [設定値のバックアップ] (P. 38)、または、デバイスの設定ページの [メンテナンス] > [バックアップ/リストア] で保存したファイルです。編集・加工されたバックアップファイルでリストアできません。
- デバイスが再起動するため、処理中のデバイスは接続が切断されます。
- 処理後、デバイスに接続できなくなることがあります。そのときは、本ソフトウェアからデバイスを削除してから、再度登録してください。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [設定値のリストア] をクリックする

[設定値のリストア] ダイアログが開きます。

3 [参照] をクリックして、リストアに使用するバックアップファイルを選択する



4 必要に応じて、暗号化パスワードを入力する

バックアップファイルに暗号化パスワードを設定しているときは、暗号化パスワードを入力してください。「設定値をバックアップする」の手順3 (P. 39) を参照ください。

5 [実行] をクリックする

確認ダイアログが開きます。

6 [OK] をクリックする

処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

デバイスの電源をオン／スタンバイにする

複数台のデバイスに対して、一括で電源のオン／スタンバイを切り替えます。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [カメラ電源] でいずれかを選択する

[一括オン] : 電源をオンにします。
[一括スタンバイ] : 電源をスタンバイにします。

3 [一括スタンバイ] を選択したときは、確認ダイアログで [OK] をクリックする

処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

デバイスを再起動する

複数台のデバイスに対して、一括で再起動します。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [再起動] をクリックする

確認ダイアログが開きます。

3 [OK] をクリックする

処理が始まります。再起動中のデバイスは [状態] が [接続不可] になります (P. 17)。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

デバイスを初期化する

複数台のデバイスに対して一括で初期化する (工場出荷状態に戻す) ことができます。

重 要

- 処理の実行中は、デバイスの電源を絶対に切らないでください。電源を切ると、正常に起動しなくなる場合があります。
- 処理を開始したデバイスは中断できません。
- 初期化する前に、現在の設定値をバックアップしておく (P. 38) ことをお勧めします。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [初期化] でいずれかを選択する

選択すると、確認ダイアログが開きます。

[管理情報を保持する]
管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷状態に戻ります。初期化されない項目については、デバイスの取扱説明書を参照してください。
[管理情報を保持しない]
管理者アカウントやネットワーク設定も含めて、すべての設定が工場出荷状態に戻ります。
管理者アカウントも初期化されるため、[状態] が [要管理者登録] になります。管理者アカウントを設定し直してください (P. 27)。

重 要

処理後、[状態] が [接続不可] になることがあります。そのときは、本ソフトウェアからデバイスを削除してから、再度登録してください。

3 [OK] をクリックする

処理が始まります。初期化が終了するとデバイスは自動的に再起動されます。再起動後、2で選択した初期設定状態に戻ります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

デバイスのパン／チルトを初期化する

複数台のデバイスに対して、一括でパン／チルトを初期化 (キャリブレーション) します。パン／チルトの位置がずれた場合に使用します。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [パン/チルト初期化] をクリックする

確認ダイアログが開きます。

3 [OK] をクリックする

処理が始まります。ステータス表示部 (P. 10) で進捗状況の確認や処理の中断を行えます。

その他の機能を使う

ログを確認する

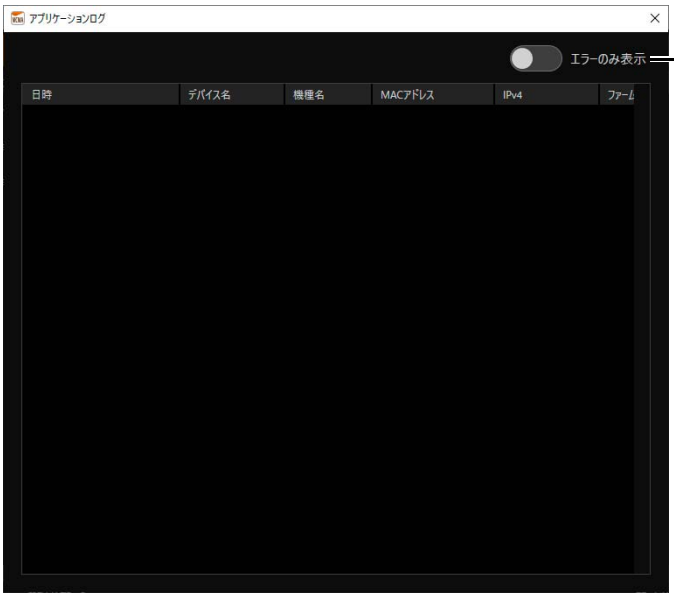
本ソフトウェアまたはデバイス本体のログを表示します。

■ アプリケーションログを表示する

本ソフトウェアのアプリケーションログを表示します。ファームウェアの更新や設定値のバックアップ／リストア、再起動など、本ソフトウェアで行った操作と実行結果の履歴が確認できます。

1 [ツール] > [アプリケーションログ] をクリックする

[アプリケーションログ] ダイアログが開きます。



(1) **[エラーのみ表示]**
オンにすると、エラーのログのみが表示されます。

2 確認が終わったら、×をクリックしてダイアログを閉じる

デバイス一覧画面に戻ります。

■ システムログ／エラーログを表示する

デバイス本体の動作状況のログを確認します。テキストファイルでダウンロードし、保存することもできます。

1 デバイス一覧で対象のデバイスを選択する

2 [メンテナンス] > [ログ] でいずれかを選択する

[システムログ] : システムログを表示します。
[エラーログ] : エラーログを表示します。
[セキュリティログ] : セキュリティログを表示します。
選択したダイアログが開きます。

3 **必要に応じて、[ダウンロード] をクリックする**

フォルダー選択ダイアログが表示されます。

4 **保存先のフォルダーを選択して、ログファイルを保存する**

[閉じる] をクリックして、デバイス一覧画面に戻ります。

リモートカメラコントロールアプリを起動する

本ソフトウェアからリモートカメラコントロールアプリを起動できます。

1 **[ツール] > [リモートカメラコントロールアプリを起動] をクリックする**

リモートカメラコントロールアプリが別ウィンドウで起動します。

メ モ

本ソフトウェアからリモートカメラコントロールアプリのデバイス登録情報は変更できません。

その他

メニュー一覧

本ソフトウェアで表示されるメニューの一覧は次のとおりです。

メ モ

機種やファームウェアのバージョンによって、対応していない機能があります。

■ ファイル

メニュー	機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
		PTZカメラ	ビデオカメラ	コントローラー	
インポート	デバイス一覧情報、表示情報をインポートする。	●	●	●	P. 21
エクスポート	デバイス一覧情報、表示情報をエクスポートする。	●	●	●	P. 21
エクスポート (他アプリ連携用)	デバイス一覧情報をエクスポートする。 (将来連携用)	●	●	●	-
オプション	ファームウェア更新の確認方法を設定する。 使用状況の収集を変更する。	●	●	●	-
終了	本ソフトウェアを終了する。	●	●	●	-

■ デバイス一覧

メニュー		機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
			PTZカメラ	ビデオカメラ	コントローラー	
情報更新		デバイス一覧の表示内容を最新情報に更新する。	●	●	●	-
デバイス登録	自動検出	PCと同じネットワークに接続されているデバイスを自動検出する。	●	●	●	P. 12
	IPv4アドレスを指定	IPv4アドレスを指定して、デバイスを検出する。	●	●	●	P. 13
デバイス削除		デバイス一覧からデバイスを削除する。	●	●	●	P. 22
初期設定		管理者アカウント設定、フレーム周波数設定、IPv4アドレス自動設定を一括設定する。	●	-	-	P. 26
ユーザー認証		デバイスのユーザー認証をする。	●	●	●	P. 15
デバイス接続情報の編集		デバイスの接続情報を変更する。	●	●	●	P. 22
列の表示設定		デバイス一覧の表示項目を設定する。	●	●	●	P. 19

■ デバイス設定

メニュー		機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
			PTZカメラ	ビデオカメラ	コントローラー	
一括設定	管理者アカウント	デバイスの管理者アカウントを一括設定する。	●	-	●	P. 27
	フレーム周波数	フレーム周波数を一括設定する。	●	-	-	P. 27
デバイス名設定		デバイス名を変更する。	●	-	●	P. 22
IPv4アドレス自動設定		指定した範囲内のIPv4アドレスを順に割り当てる。	●	-	●	P. 28
デバイス間設定値コピー	設定値を保存	デバイスの設定値をファイルに保存する。	●	-	-	P. 29
	設定値をコピー	デバイスの設定値を他のデバイスにコピー (上書き) する。	●	-	-	P. 30
設定ページを開く		リモートカメラの設定ページを開く。	●	-	-	P. 20

■ グループ管理

メニュー		機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
			PTZカメラ	ビデオカメラ	コントローラー	
グループに追加	(グループ名)	作成したグループにデバイスを追加する。	●	●	●	P. 25
グループから削除		グループからデバイスを削除する。	●	●	●	P. 25
グループ編集		グループの作成や管理を行う。	●	●	●	P. 24

■ メンテナンス

メニュー		機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
			PTZカメラ	ビデオカメラ	コントローラー	
カメラ電源	一括オン	カメラの電源をオンにする。	●	-	-	P. 40
	一括スタンバイ	カメラの電源をスタンバイにする。	●	-	-	
再起動		デバイスを再起動する。	●	-	-	P. 40
設定値のバックアップ		デバイスの設定値をバックアップファイルに保存する。	●	-	●	P. 38
設定値のリストア		バックアップファイルに保存された設定値をデバイスにリストアする。	●	-	●	P. 39
ログ	システムログ	デバイスのシステムログを表示する。	●	-	-	P. 42
	エラーログ	デバイスのエラーログを表示する。	●	-	-	
	セキュリティログ	デバイスのセキュリティログを表示する。	●	-	-	

メニュー		機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
			PTZ カメラ	ビデオ カメラ	コント ローラー	
初期化	管理情報を保持する	デバイスを初期化する。管理者アカウントやネットワーク設定などを除くユーザー設定値が、工場出荷状態に戻る。	●	-	-	P. 41
	管理情報を保持しない	デバイスを初期化する。すべての設定が工場出荷状態に戻る。	●	-	-	
パン/チルト初期化		デバイスのパン／チルトを初期化する。	●	-	-	P. 41
ファームウェア更新		デバイスのファームウェアを更新する。	●	-	●	P. 36
最新ファームウェアの確認		デバイスの最新ファームウェアに関する情報を取得する。	●	-	●	

■ ツール

メニュー	機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
		PTZ カメラ	ビデオ カメラ	コント ローラー	
コントローラー設定	コントローラー (RC-IP1000) の登録カメラを管理する。	-	-	●	P. 31
リモートカメラコントロールアプリを起動	リモートカメラコントロールアプリを起動する。	●	●	●	P. 43
アプリケーションログ	本ソフトウェアのアプリケーションログを表示する。	●	●	●	P. 42

■ ヘルプ

メニュー	機能	対応デバイスカテゴリー			ページ
		PTZ カメラ	ビデオ カメラ	コント ローラー	
マルチカメラマネジメントアプリについて	本ソフトウェアのバージョン情報を表示する。	●	●	●	-

トラブルシューティング

販売店やお客様相談センターに連絡する前に、次のことを確認してください。

メ モ

- カメラ本体やコントローラーのトラブルシューティングについては、各使用説明書を参照してください。
- お使いのカメラによって、対応していない機能や設定があります。

問題	対処方法
マルチカメラマネジメントアプリを起動できない	• Windowsファイアウォールが有効になっている可能性があります (P. 9)。 • すでに本ソフトウェアを起動している場合、二重に起動することはできません。
デバイスが検出されない	• デバイスとの接続を確認してください。正常に接続されている場合は、デバイスの電源を入れ直してみてください。 • 同じネットワークセグメントに存在しているカメラが検出されないときは、再度、[検索] をクリックしてください。 • 同じネットワークセグメントに存在しないデバイスは検出されません。手動でデバイスを追加してください (P. 13)。 • 対応機種以外のカメラは検出されません。
デバイスが登録できない	登録できるデバイス数の上限は200台です。200台に達している場合は、デバイス一覧からデバイスを削除してから新規に登録してください (P. 22)。
カメラの映像が表示されない	• ネットワークの通信状態を確認してください。 • 本ソフトウェアが動作するPCとカメラが、ネットワークに正しく接続されているか確認してください。 • ご利用のセキュリティソフトウェアで、カメラや本ソフトウェアの除外設定を行ってください。
リモートカメラの設定ページにアクセスできない	カメラの動作環境を確認してください。
デバイスとの認証に失敗する	デバイスの管理者アカウント情報を変更した場合は、再度認証する必要があります (P. 15)。
デバイス一覧に、デバイスが表示されない	登録されたデバイスをデバイス一覧から削除した場合、デバイスとの接続が正常でもデバイス一覧には表示されません。デバイスを再度登録してください。
メニューがグレー表示されて選択できない	• デバイスの状態を [接続可] にしてください。 • デバイスのファームウェアバージョンを最新に更新してください。 • リモートカメラコントロールアプリをインストールしてください。 • ユーザー認証の状態や機能の実行中など、条件によってグレー表示されるメニューがあります。 • 認証されたコントローラーが登録されているときだけ、[コントローラー設定] を選択できます。

メッセージ一覧

メッセージが表示されたときは、下記の表に従って対処してください。

メッセージ	説明
ファイルのパスが256文字を超えています。	指定したフォルダとファイルの長さが256文字を超えています。フォルダとファイルの長さを256文字以下にしてください。
グループ名が重複しています。	既存のグループ名と同じグループ名は設定できません。違うグループ名で設定してください。
選択されたカメラ番号に対して、割り当て対象のカメラが多すぎます。	カメラの台数が多いため割り当てできません。割り当てるカメラの台数を減らすか、割り当て先 (コントローラー) のカメラ番号をより小さい番号に変更してください。

メッセージ	説明
コントローラーに接続できませんでした。	コントローラーの電源がオンになっていることを確認してください。
一部のカメラの割り当てに失敗しました。 <カメラ番号>	割り当てに失敗したカメラがあります。再度、割り当てを行ってください。
IPアドレスが不正です。 IPv4アドレスが不正です。 IPv4アドレス範囲が不正です。	IPアドレスに不正な値が入力されています。入力内容を確認してください。
未確認のエラーログがあります。	[メンテナンス] > [ログ] > [エラーログ] からエラー内容を確認してください。
以下のデバイス用のファイルが選択されていません。 <機種名> Ver.XXX	表示されたデバイス用のファームウェアファイルが選択されていません。 ファームウェアファイルを選択し直してください。
指定されたバックアップファイルは形式が不正であるか、または、ファイルの内容が壊れています。	バックアップファイルの形式が不正であるか、バックアップファイルが破損しています。バックアップファイルを選択し直してください。
指定されたバックアップファイルはこのカメラとは異なる機種でバックアップされたためリストアできません。	異なる機種でバックアップされたファイルです。バックアップファイルを選択し直してください。
指定されたバックアップファイルは、現在のファームウェアバージョンのカメラにリストアできません。	新しいファームウェアバージョンのカメラでバックアップされたファイルです。カメラと同じか古いバージョンのバックアップファイルを選択し直してください。
不正な文字が含まれています。	使用できない文字が含まれています。[管理者名] には半角英数字と一部の記号 (「-」と「_」) が使用できます。
パスワードが不正です。	パスワードに不正な文字が含まれています。半角英数記号のみ入力できます。
管理者アカウント設定に失敗しました。	• ネットワークに接続していないデバイスがあります。デバイスの電源を入れ直してください。 • パスワードの条件を満たしていないデバイスがあります。お使いのデバイスのパスワード条件を確認してください。詳しくはカメラ、コントローラーの使用説明書を参照してください。
IPv4アドレス範囲とデフォルトゲートウェイのネットワークアドレスが異なります。 同一ネットワークアドレスになるように指定してください。	[IPv4アドレス範囲] と [デフォルトゲートウェイ] が同一サブネットを指定していません。同じサブネット内になるように指定し直してください。
割り当て可能なIPv4アドレスの数がXXX個不足しています。	選択したデバイスの数に対して、[IPv4アドレス範囲] で指定した範囲内に未使用のIPv4空アドレスの数が不足しています。選択するデバイスの数を減らすか、[IPv4アドレス範囲] を広げてください。
サブネットマスクは連続した値である必要があります。	[サブネットマスク] に入力した値が連続した値になっていません。値を入力し直してください。
<機能名> に失敗しました。 <デバイス名>	処理が完了したときに、正常に終了しなかったデバイスが存在する場合に表示されます。アプリケーションログ (P. 42) でエラーの内容を確認し、再度処理を行ってください。
新規登録デバイス数が最大数を超えています。	新規登録に選択したデバイス数が登録可能なデバイス数を超えています。デバイスを選択し直してください。
不正な形式のファイルが含まれていました。 <ファイル名>	ファームウェアの更新用ファイルではありません。ファームウェアファイルを選択し直してください。
ファイルの読み込みに失敗しました。 <ファイル名>	アクセス権のないファイルが指定されていたり、ファイルが存在しなかったりしたときなどに表示されます。ファイルを確認してください。
選択ファイル数が最大数XXXを超えています。	一度に選択できるファイルの数を超えています。選択ファイルの数をXXX個以下にして、再度実行してください。
コントローラーの操作が制限されています。コントローラー本体で操作モードをフルコントロールに設定してください。	本ソフトウェアからの操作が制限されています。コントローラー本体で [操作モード] を [フルコントロール] に設定してください。

メッセージ	説明
ファームウェア更新に失敗しました。	ダウンロードしたファームウェアファイルを使用したファームウェア更新に失敗した場合、ファイルが破損している可能性があります。アプリケーションログ (P. 42) に表示される [ダウンロード] をクリックして、再度実行してください。
選択したデバイスよりも古いファームウェアバージョンのデバイスにはコピーできません。	古いファームウェアのデバイスが選択されています。デバイスを選択し直すか、ファームフェアの更新をしてください。

商標

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

索引

I

IPv4アドレス 16
IPv4アドレスを指定して登録 13
IPv6アドレス 16

M

MACアドレス 16

S

SSL通信 12

ア

アプリケーションログ 42

イ

一覧表示画面 9
インポート 21

エ

映像表示画面 10
エクスポート 21
エラーログ 42

カ

管理者アカウント 27

キ

起動 9

ク

グループ 9, 24

コ

工場出荷状態 41
コンテキストメニュー 20

サ

再起動 40

シ

システムログ 42
自動検出 12
証明書のインポート 33
初期化 41
シリアル番号 16

ス

スタンバイ 40
ステータス表示部 10

セ

設定値のコピー 30
設定値のバックアップ 38
設定値のリストア 39
設定値をファイルに保存 29

テ

デバイス一覧 9
デバイス一覧の表示項目 16
デバイスカテゴリー 16
デバイスの削除 22
デバイスの状態 17
デバイスの初期設定 8
デバイスの接続情報 22
デバイスの選択 10
デバイスの登録 12
デバイス名 16
デバイスを絞り込む 18
デバイスを並び替える 19
電源オン 40

ト

トラブルシューティング 47

ニ

認証 15

ハ

パン／チルトの初期化 41

フ

ファームウェアの更新 36
ファームウェアバージョン 16
フィルター 18

フレーム周波数 27

ホ

ポート番号 12

メ

メッセージ一覧 47
メニュー一覧 44

リ

リモートカメラコントローラー RC-IP1000 31
リモートカメラコントロールアプリ 43
リモートカメラの設定ページ 20

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

■ キヤノンお客様相談センター

0570-07-0032

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4268 におかけください。

■ キヤノン　リモートカメラシステムホームページ

リモートカメラシステムホームページにも最新情報を掲載しておりますので、ご利用ください。

キヤノン　リモートカメラシステム製品情報

canon.jp/remotecam

本書の内容は2025年9月現在です。本ソフトウェアの仕様や本書の記載内容は、将来予告なく変更することがあります。

DIJ-0523-000A
© CANON INC. 2025